



chapter 1

食料危機



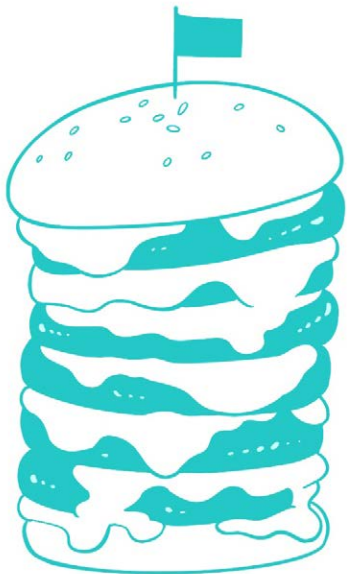
私たちがおいしく食べているものを
将来、食べられなくなったら
私たちは何を食べるようになるでしょうか？

映画や小説でしか見たことのない**食糧危機**の物語は、
遠い未来ではなく、現実になりつつあります。

人口増加より急激に増えている**食料需要**。

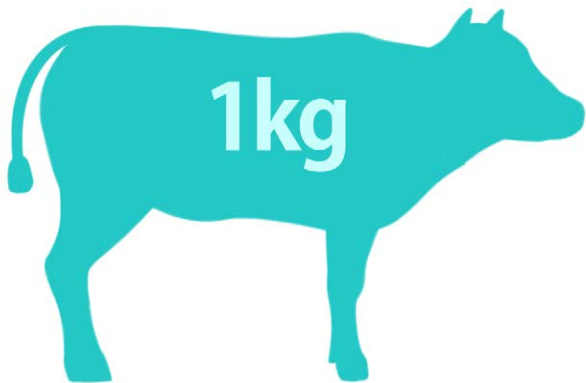
しかし、
供給量がとてつもなく足りないと予想されています。
一体何が食料生産に影響を及ぼしているのでしょうか？





一人当たりの肉類の消費量が世界的に増え続けています。

牛を飼育するには
多くの資源が消費されます。



イサ | 水
= 25kg | 20,000L



これにより草原が減ると共に
気候変動が起き、食料生産に影響を与えるのです。

食料問題が深刻化している今、
代替品となる食糧には何があるでしょうか？



chapter 2

未来の食品

最初に紹介する食糧は**食用昆虫**です。



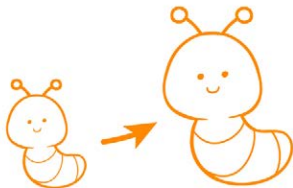
食用昆虫のメリットは？



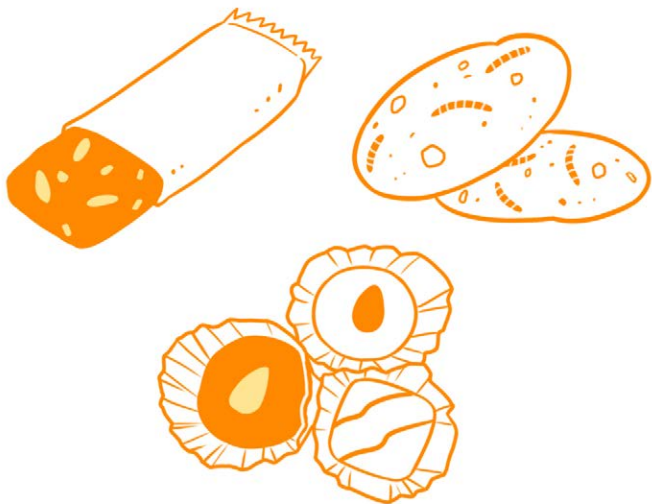
1.タンパク質が豊富



2.エサの量が少ない



3.飼育速度が早い



食用昆虫の研究が活発になるにつれ、
関連製品群も多様な形で発売されています

次に紹介する食糧は**培養肉**です。

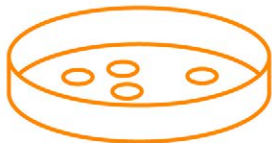


培養肉は、動物の細胞を培養して人工的に作り出した肉のことを言います。

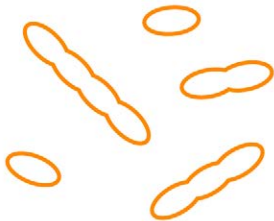
培養肉の作り方は？



1.牛の筋肉から細胞を採取



2.細胞を培養し、数を増やす



3.細胞が互いに融合・筋管を形成



4.培養肉完成!

培養肉のメリットは？



環境保護



フードロス削減

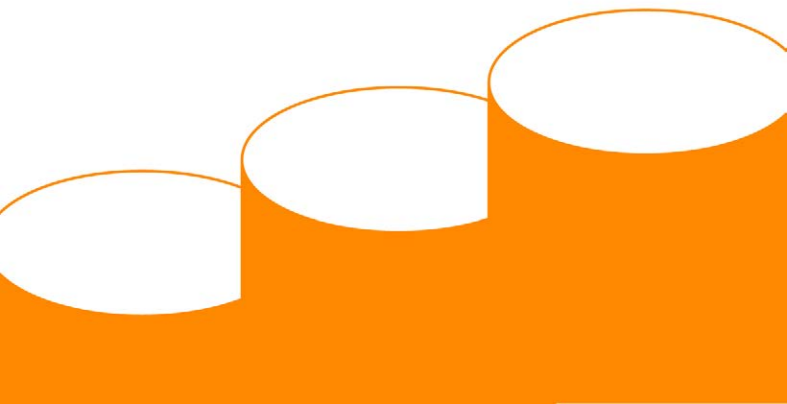


安全な食品生産



このように多様な食品の開発が進んでいますが、
代替食品の最大の課題は「拒否感」です。

新しい食品が今後の我々の日常に根付くためには、
流通や企画の面でも努力が必要になるでしょう。



食品開発の以外に、
この危機を乗り越える方法は何があるのでしょうか。



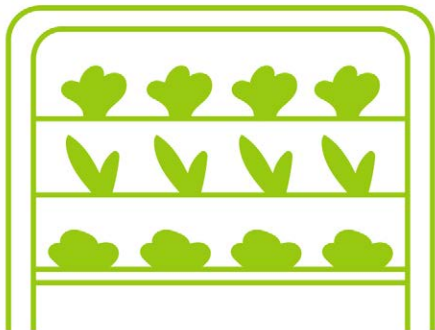
chapter 3

新しい未来へ



食料危機を克服するために
どのようなプロジェクトが実行されているでしょうか。

植物工場



LEDと水耕栽培を利用して農作物を育てる方法です。
外部環境に制約されず、安定的に農作物を生産できます。

都市農場



屋上やベランダで野菜などを育てることを意味します。
植物と交感することで情緒的な安定も得られ、
ヘルシーな食べ物も収穫できます。

スマート農業



農業にICT技術を組み合わせ、遠隔・自動で作物や家畜の生育環境を適正に維持・管理できる農場のことを言います。

食料危機に対する技術開発も重要ですが、
危機意識を持ち、
日常の行動を改善していくことも重要です。

我々が力を合わせれば、**食料危機**を防ぐことができます。



1.地産地消する



2.菜食中心の食事



3.フードロスを減らす



私たちの未来を守るため、
一緒に生活の中で省エネに取り組んでみましょう。

